

まちづくり委員会

活動の足跡
(誕生から今日まで)

平成十四年十二月十七日
第一回設立準備会の開催
平成十五年二月五日
第二回設立準備会の開催
三月十四日
第三回設立準備会の開催
三月二十三日
組長会に於て『千僧供町まち
づくり委員会』(仮称)の設
立について協議、承認される
三月末日
各委員に委嘱状が交付される
五月五日
準備委員会の開催
五月二十五日
第一回千僧供町まちづくり委
員会の開催(趣旨説明・規約
の承認・役員選出など)



六月三日
第一回役員会の開催
六月中旬(七月六日)
千僧供町の標語・シンボルマ
ークの募集
七月十二日
第二回委員会の開催(規約の
決定・標語・マークの一次選
考など)



七月二十九日
第二回役員会の開催(標語、
マークの選考会と発表・表彰
について他)

八月五日
標語・シンボルマーク選考会
(市長・館長・連合自治会長
・小学校教諭他)
八月十二日
第三回委員会の開催(選考会
の結果と発表・表彰、バザー
について他)



八月三十日
第四回委員会の開催(バザー
の準備、表彰式の役割分担、
今後の活動等)
〓とても多くの品物を提供
いただきましたありがとうございました〓
九月七日
バザー開催(午前十時より)
標語・シンボルマークの表彰
式(午後三時半より)
十月五日
第一回幹事会の開催(文化祭
への参加・今後の取組みにつ
いて)



十月十九日
第五回委員会の開催(文化祭
への参加・今後の取組みにつ
いて)
十一月三十日
第六回委員会の開催(今後の
取組みについてグループ別協
議)
十二月二日
標語の看板作成グループ
(モデル看板の作成)
以上が設立の準備から今日に
至るまでの活動及び会議の報告
ですが、特に標語とシンボルマ
ークの募集には、それぞれ二十
四点と六十八点の大変多くの応
募があり、川端市長さんをはじめ
選考をお願いした方々一同にと
ても感謝しておりました。ま
た九月七日に開催したバザーで
は、お陰様で三万八千円の収益を
上げ、活動の資金として有効に
活用させていただきます。

これからの活動予定

「標語看板作成グループ」

松本 繁、小川敏秋
児玉智広、小川春夫

看板作成についての問題点
作成経費の捻出

・経費が全然ないので一個だけモデルを作成し、スポンサーの募集をする。事業所、団体、個人など
・モデル作成も同様に経費がないのでメンバーの「小川組」さんにスポンサーを依頼したところ快諾を得たのでモデル作成経費とする。
・モデルの作成
・メンバー夫々が看板イメージ、書体の工夫、看板の装飾イメージ、本体ベースの色塗り、シンボルマークの切りぬきなどを事前準備の上作成する。



その他

・標語は、最優秀作品を看板にする。
・十ヶ所位を作成目標とする。
・掲示板などの複合タイプも検討する。
・住宅案内板、マップの作成グループとの連携も検討する。
・モデル作成により作成単価と労力を予測する。

「KJ法研究グループ」

藤居 剛
小川広司、小川公子

KJ法とは、川喜田二郎さんという方が、発案された問題解決の方法のことです。
町内で車の通りぬけが多いといった身近な問題や、この先千僧供町をどのように住みよい町にしていくか等を、このKJ法を使って改善の方法を見いだしていきます。

「住宅案内板作成グループ」

久郷 勇

小川 敏信、小菅 好美
坂田美智代、富永美奈子

住宅案内板作成について

①千僧供町に見合った地区別の拡大版を作成する。
大千僧供・小千僧供・六枚橋・山ノ下 4 地区の拡大版
千僧供町全体図など
②設置場所は目立つ場所
車の止めにくい所を避け、誰もがみられる場所に設置。一般的な案内図ではなく千僧供町の名

所等を入れカラフルでオリジナルな案内板の作成。(マップ作成グループと協力し名所等も取入)

③住宅案内図の表示について

世帯主の氏名をどうするか？
二世帯的な家はどちらの氏名を載せるか？ 若い世帯側にする？
シンボルマークの貼付、標語の看板も共有

④住宅案内図本体について

木枠にカラー鋼板を貼り、ペンキ(塗料)にて地図を記入が基本スタイル。予算次第では耐久性のいい材料を使用予定

⑤資金について

予算ゼロにてのスタート、千僧供町住民の協力を依頼、無料で材料を頂ける物入手。千僧供町には企業・商売・自営されている所が多数あり、広告(目印)の取入れとし広告料を依頼

⑥次回活動予定

他の町の住宅案内図などを参考に、住宅案内図の下書きの準備、製作

「マップ作成グループ」

小川敏博

馬場和美、中島英美
小川薫、河村記代美

マップ作成の今後の活動として、まずどのようなマップにするかを検討する為、グループ全員で資料集めを行う事にしました。他の市町村や観光地で作成されている色々なマップがあると思いますので、出来るだけ多くの資料を集め、それらを参考に千僧供町のマップ構

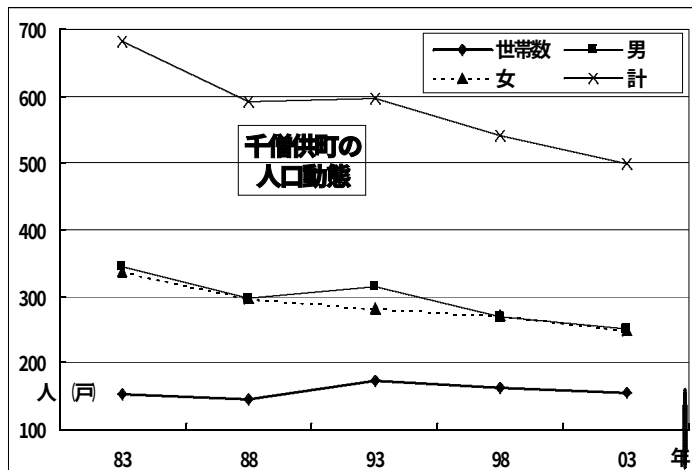
成を検討して行きたいと思っています。
千僧供町の見所を誰が見てもわかりやすく、また歴史ある千僧供町にふさわしいマップに仕上げたいと思います。市町村マップなど資料をお持ちの方がおられましたら、まちづくり委員会にお貸し頂けると助かります。

「広報グループ」

小川博久
小川由一、馬場茂喜

年二回の発刊を予定しています。
千僧供町のみなさんにまちづくり委員会の活動計画及び、活動状況を伝えます。「みなさんの声」の覧で、毎回皆様方の、まちづくり委員会に対する期待、意見を掲載し、住民が一体となった住みやすいまちづくりが実現できるよう広報活動をしていきたいと思います。

千僧供町の古墳、文化財などを毎回紹介し、町民のみなさんに、わが町の歴史に興味をもって頂けるようにし、後世に残せるようにしたいと思っています。また、専門家の方に来て頂いて、勉強会なども行ない、知識をふかめていければと思います。千僧供町の、知らないかったことなども掲載して行きたいと思っています。今回は、人口について、グラフなどで紹介してみました。千僧供町の年齢別人口などご存じでしたか。みなさんに教えてあげたい情報がありましたら、まちづくり委員会広報グループまでご連絡ください。掲載させていただきます。



「東京からのお客さん」

九月二二日に、「古墳・遺跡等を見学する会」のグループ十名の方が、千僧供古墳群を見学に来られました。市よりまちづくり委員会のほうに案内の依頼がありましたので、当日、易行寺住職、小川とみさん（馬淵史談会メンバー）にお願いし、まちづくり委員会メンバー三名が同行しました。

スタートは住蓮坊古墳で、易行住職より住蓮坊安楽坊の説明をしていただきました。その中で「住蓮坊は、なぜ、この千僧供の地で処刑されたのですか。」とたいへん素朴で難しい質問がありました。こういった点において、われわれは、勉強していく必要があると思われまます。次に供養塚古墳、ここでの質問は、「どちらが、北ですか、どちらが塚の頭ですか。」というものでした。方位は答えることができたのですが、現在の地図に発掘された塚の全形を、載せた資料が無く答えられませんでした。そこで、発掘当時の航空写真を滋賀県文化財保護協会よりいただき、今回の供養塚古墳紹介にも掲載しました。次に岩塚古墳、石室に感動されていました。次に、トギス塚古墳、最後に椿神社を案内しました。

ここでの質問は「三重県にも椿神社がありますが、何か関係



が、あるのですか。」との事でし
た。又、グループの中で神社に
詳しい方が、「このこま犬は新
しい物だが、木のこま犬は珍
しいですよ。」と言っておられま
した。

グループからの一言

＊案内板とか詳しい地図が無
い為、自分たちだけで廻る事
ができない。住蓮坊は県道、
国道の近くだから、標識があ
れば、わかりやすい。

（まちづくり委員会では今回、
マップ作りグループにより早
期に千僧供古墳のマップを完
成させます。）

＊近江八幡市歴史民俗資料館
に資料をお願いしたが、送ら
れてこなかった。

このようなケースは、珍しい。

【古墳、寺、遺跡を見学する会】
のグループの紹介

（このたび、市と千僧供町ま
ちづくり委員会との行き違い
でグループのみなさんへ遺跡
の資料が送られていませんで
したので申し訳なく思ってい
ます。）

各県の古墳等を月一回位まわ
っておられ、年一回泊まりで遠
くへ出かけられておられる東京
江東区近辺の方々です。去年は、
湖東の古墳、安土風土記の丘、
など野洲、湖東町を訪れられ、
大変好評だったので今回は、近
江八幡（千僧供古墳群）、八日
市（雪野山古墳群）を車二台で
廻り、見学されました。

まちづくり委員の紹介

千僧供町まちづくり委員会名簿

平成15年5月25日作成

会長（自治会長）

小川 与志男

副委員長

川敏秋（馬場）

事務局長

川廣司（北浦

會計

川月
博久
(北
浦

100

敏博（小川）

1

居岡(山下)

1

菅 好美 (六枚橋)

委員 相談役

利男
小川
繁雄

馬場川

場
小川
敏信

小川

川 兎 玉 智 広

千僧供探訪

① 供養塚古墳

(県指定文化財史跡)

（約千五百年前）の古墳時代中期（供養塚古墳は、古墳時代中期江戸時代から知られ、寛文二年に領主福富平左衛門という人が掘った時に、古鏡・水晶・刀などが出土しましたが、これらは残念ながら現存していません。昭和八年二月に、馬淵小学校へ通ずる通学道路造成に土取場とされ、採土の途中に、石室が発見されました。その中から刀剣・短甲「横矧鉄板鋌留式の板鎧」が出土しました。昭和三十三年に樹脂加工の修理がほどこされて千僧町の町有として大切に保管され、市指定文化財（昭和四十五年）にもなっています。

昭和五十七年、県営圃場整備に伴い発掘調査の結果、帆立貝式古墳であることが判明しました。メートル、長さ八メートルを測る、ほぼ長方形を呈する「造り出し」を設ける比較的、稀な古墳です。さらに周豪内からは、墳丘部および外堤より、転落した多量の埴輪「普通円筒埴輪や朝顔形埴輪を主体に、家（八棟以上）・衣蓋・鞆・人物・馬・鶏等の形象埴輪がセット」が出土しました。



調査時の全景写真（昭57年）

これら形象埴輪は、濠内でも造り出しに對峙する外堤側より集中的に認められ、こうしたあり方からいわたる外区の存在が推察されました。

「参照文献」

近江八幡の古文化ゆみ
滋賀文化財だより
No.74・No.53

みなさんからの声



第1号発刊にあたって
近年、隣接の集落でまち
づくりが取り組まれていま
すが、今年が千僧供町にと
って“まちづくり元年”。
私たち町民も楽しく気軽に
協力でき、委員さんの負担
とならない、いつまでも続
けていける活動を期待しま
す。

(Hさん)

平成十六年度の新春を迎え千僧供町の皆様おめでとうございます。今年も地域発展にご尽力賜りたく宜しくお願い申し上げます。

さてまちづくり委員会が平成十五年三月末に発足し新年度から会合が何回も持たれ立派なシンボルマークおよび標語も出来上がり、今後本格的に会議、また活動が始まる事と思いますが千僧供の「特色」が生かされたまちづくりと、若いも若きも千僧供町に住んで良かったと思う「人づくり」を旨指して委員会の活動を期待しております。

(Sさん)

(Sさん)

編集後記

住みやすくなるような環境
 づくりのためにも、世代別
 あるいは世代間の意見交換
 ができる機会を提供して頂
 いてはどうか。
 また、町の活性化につな
 がり、町民が誇りと生きが
 いをもつて、取り組むこと
 のできる事業の立案など前
 向きな活動を期待していま
 す。
 (Yさん)

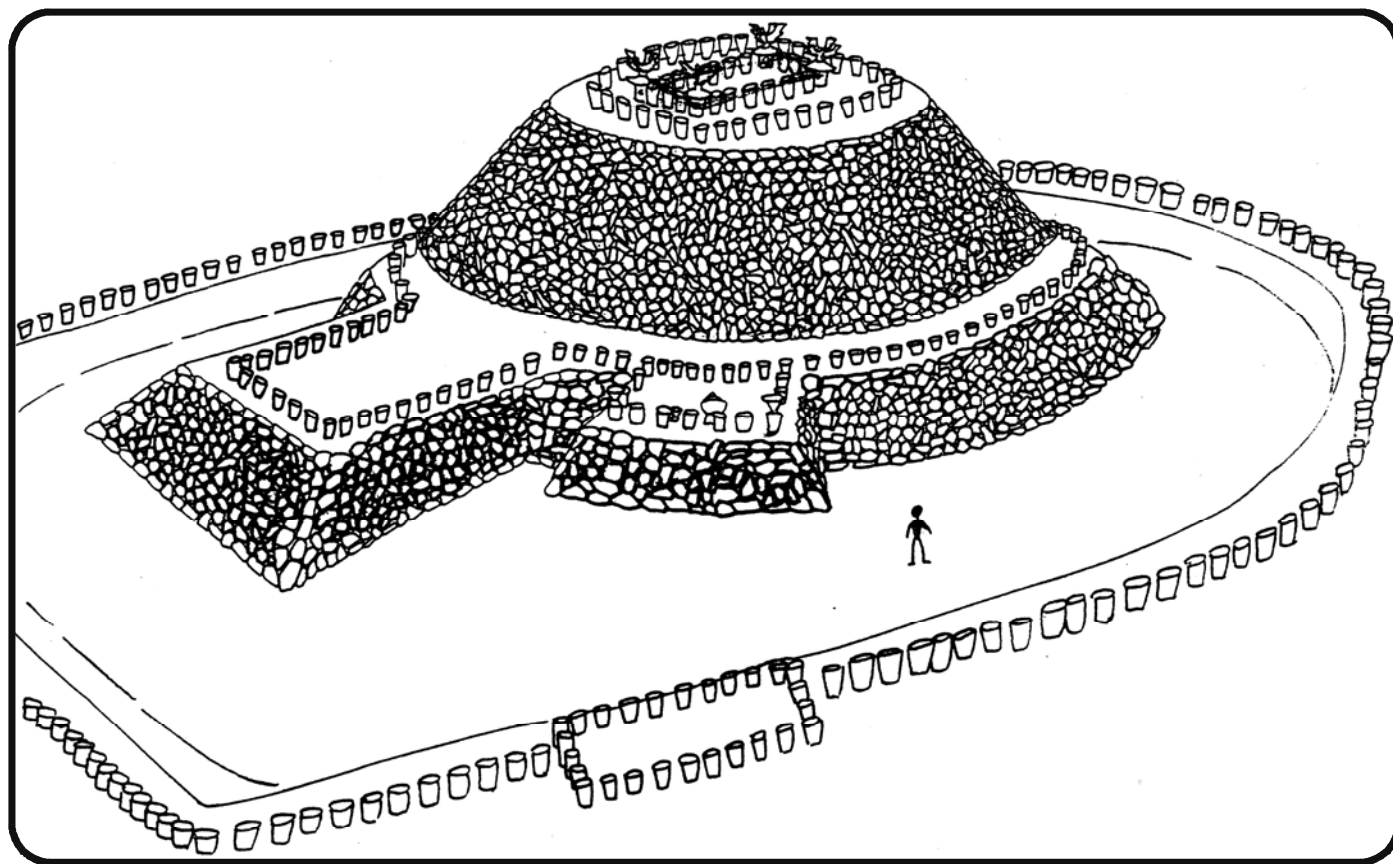
ハードでもソフトでも、
 明るいまちであってほしい
 と思います。例えば、街灯
 がもつと明るかったり、こ
 が千僧供町って一目でわ
 かる看板を作ったり。
 千僧供町の名の由来を知
 らないので、誰か教えて
 知ったらもっと身近に感じ
 て愛着が湧くかなーと思
 います。

まちづくり委員会の皆様
 頑張って下さい。(＞O＜)

(Tさん)

まちづくり委員会の活動内容を少しでも、皆さんにお知らせできればと思います、またいろんなご意見をいただければと考え、広報を発刊しました。皆さんのご力添えを今後ともよろしくお願いして、第一号の発行の御礼といたします。

供養塚古墳推定復原図



平面図

